

みんなの健康ラジオ

『気になる乳房の病気』

(2021年10月21日放送)

横浜市産婦人科医会

長津田レディースクリニック

井原 規公

乳腺に作用するホルモン

エストロゲン（女性ホルモン）

乳管上皮細胞・間質細胞の増殖⇒乳管ができる
乳がんの進行に関係

プロゲステロン（黄体ホルモン）

乳管上皮細胞の分化誘導 ⇒ 腺房が作られる
月経前後の乳房痛やしこり感、乳がんの進行に関係

プロラクチン

乳汁産生

薬の副作用や下垂体腺腫などで高プロラクチン血症

ピルやホルモン補充療法による乳がん発症リスクは？

- 避妊目的や生理痛の治療、更年期障害へのホルモン補充療法（HRT）などで使用される薬には女性ホルモンと黄体ホルモンが含まれているが、最近の超低用量ピルやHRTでデュファストンを使用する場合はリスクの増加はない。
- 日本人でのデータでは、発症リスクの増加は認められていない。

OC・LEPガイドライン
ホルモン補充療法ガイドラインより

婦人科がんと遺伝性乳がん

- 日本では2人に1人ががんになるが、90%以上は遺伝性ではない。体質的にがんになりやすい人が5~10%いるものの、皆ががんになるわけではない。
- 遺伝性腫瘍の例
 - 遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC） 乳がん・卵巣がん…
遺伝性乳がんの約8割、乳がんの3~5%、卵巣がんの10%
 - リンチ症候群 子宮体がん・大腸がん・乳がん…
 - カウデン症候群 乳がん・子宮体がん・甲状腺がん…
 - ポイツ・イエガース症候群 大腸がん・乳がん・卵巣がん…

乳がん患者の健康管理

- 閉経前後の内分泌療法による影響
更年期障害
脂質代謝異常
骨量低下
- 子宮体がんのリスク
閉経前は罹患リスクの上昇はない
定期的な子宮体がん検診は推奨されない
子宮内膜ポリープがある場合は定期検診を

J-START 第2報

超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験

- マンモグラフィ (MG) 検診で高濃度乳房の場合、超音波検査 (US) の追加でがん発見率が上昇することが知られている。
- 日本人の40歳台においては、高濃度乳房に限らず非高濃度乳房においても、超音波検査の併用で感度が上昇する。

MG+US併用群	US併用前	US併用後
高濃度乳房	54.6% →	93.2%
非高濃度乳房	69.0% →	93.1%

2021年8月 JAMA Network Open より